

昇華転写捺染の工程

弊社のオーダーのれんには、前回ご紹介した本染めの他に、顔料プリント・昇華転写などの染め方があり、ご要望にあわせて最適な方法をご提案しております。

今回は“昇華転写捺染”の工程をご紹介します。

“昇華転写”とは

インクジェットプリンターで転写紙に絵柄を染料でプリントした後、その転写紙と布を合わせます。それを転写機にかけ、ローラーで180℃以上まで加熱することにより、固体から気体へ気化(昇華)した染料が生地繊維に入り込み染色する染め方です。両面染と片面染が出来、両面は布の表裏に1枚ずつ転写紙をサンドイッチします。生地はポリエステル100%のものに限りませんが、色数やデザインの制約が無く、グラデーションやぼかし、又細かな線もご希望のイメージ通りに染め上げることが出来る、自由な染めものと言えます。

オーダーのれん“昇華転写”制作工程

① ご注文

お客さまより頂いたご注文内容に基づき、生地や色味・データ等の確認が必要なことがあればすり合わせさせて頂いた後、製作スタート致します。

② データ入稿・色調整

まず支給頂いたデータの色合わせを行ないます。

(写真 A 参照)

※昇華転写には必ずアドビ社のイラストレーター(フォントはアウトライン化して下さい)のデータが必要です。(イラストレーターのデータをご用意出来ない場合は、弊社担当者までご相談下さい。)

③ 転写紙に出力

インクジェットプリンターで転写紙に絵柄を出力します。両面染めの場合、表面と裏面の2枚のデータを出力します。乾燥後、いよいよ染めへ。

(写真 B 参照)

※製作(染め)可能な最大サイズ

両面転写・・・W1450×H3000 mm

片面転写・・・W1450×H 無制限

④ 染め

出力された転写紙と生地を合わせます。

両面の場合、転写紙の間に生地を挟み込み、表面と裏面の絵柄のズレが無いよう、作業台の下から照明を当てて、慎重に貼り合わせを行ないます。

そして、合わせた転写紙と生地を熱転写機にかけて染めます。

(写真 C～E 参照)

⑤ 縫製・検品

染め上がり後、転写紙をはがし乾燥させます。

その後、ご注文内容に沿って仕立てます。

⑥ 出荷・納品

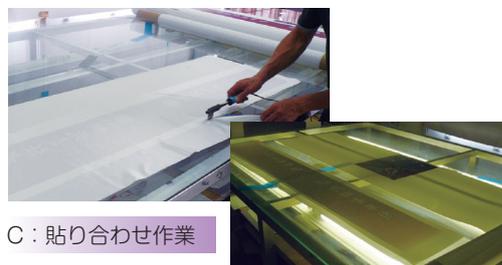
サイズや汚れ、また検針器にかけて針折れのチェックを行ない、丁寧にアイロンをかけしわをとり出荷します。



A: 色調整



B: 転写紙に出力



C: 貼り合わせ作業



D: 転写中

E: 染め上がり



この様に昇華転写は印刷ではなく正真正銘の染めですので、布自体の風合いも残した仕上がりになります。またポリエステル素材ですので、優れた耐光性・耐水性も特徴のひとつです。さらに、蒸し・水洗工程(水を使わない)や製版が無い為、納期の短縮も可能な優れた染めものと言えます。ベースとなる生地も、麻風・綿風のもの、透け感のあるもの・厚手のもの等、色々ございますので、お気軽にお問い合わせ下さいませ。